

【緑地の樹】

ゴンズイ(権萃)

プロフィール：ミツバウツギ科 ゴンズイ属

平和台の児童公園から入って小道を進み、竹の手すり付き段々を下りると、すぐ左側にあります。

[高さ] 5～6mの落葉広葉樹で、関東以西の山地に生える

[樹皮] 黒緑色で、灰褐色のポツポツが縦筋を成している

[葉] しっかりした、光沢のある、縁に細かいギザギザがある5～10cmの狭い卵形の小葉が対生して10～30cmの(藤の葉のような)奇数羽状複葉を成している

[花] 春5～6月 枝先に円錐花序を出し、直径4～5mmの小さな淡黄緑色の花を多数開く

[実] 秋9～11月 袋果が段々赤くなり熟すと皮が割れてその上に黒い種子が現れる



木そのものは目立たず、名前もゴンズイと響きも良くないし関心を持たなかったのですが、目を惹いた春の色彩が消えた中で、9月頃から袋果が段々色づき、真っ赤に熟し、割れて艶々した真っ黒な種が現れて、周りの樹々の紅葉までの長い間楽しませてくれるゴンズイに気付いて、好きになりました。それからどんな花なんだろうと思っていたら、秋の実と対照的に春の花の何と目立たないことかと驚きました。

今は1本だけ目立っているゴンズイですが、種が落ちて生えてきたのか木の周辺に小さい幼木が育っているようなので楽しみです。

星